ヘマトクリット管採血検体からの検体回収法について

イムファストチェックＪ１は全血 20μＬ以上の回収が可能であれば指・耳朶等、静脈外部位からの採血試料中の特異的 IgE を測定することが可能です。

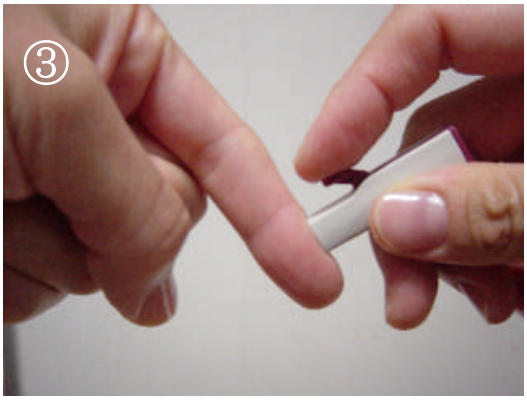
微量採血はヘマトクリット管を用いる方法が一般的ですが、以下にイムファストチェックＪ１測定までの手順について解説いたしました。ご参考となりましたら幸いに存じます。

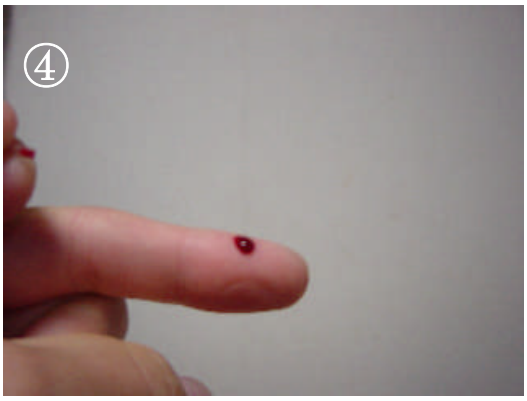
～指からの採血・回収の場合～

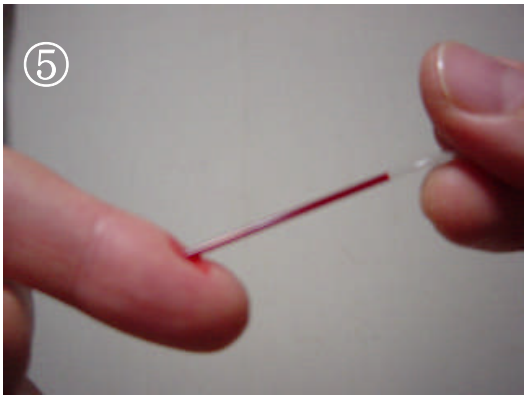
使用器具：

- ランセット（皮膚穿刺器具）
- ヘマトクリット管（ヘパリン処理済）
- ミニピペット（別売）
- ミニピペット用チップ（キットに付属）
- 検体処理用サンプルカップ（キットに付属）

（ランセット，ヘマトクリット管，ミニピペットは、試薬キットに付属しておりませんので、別途ご用意ください。ミニピペット(別売)は１本で繰返し使用できます。試薬キットおよびミニピペットのご使用に際しては付属の添付文書，取扱説明書をご覧下さい。）







手順：

① あらかじめ指を揉む、振る、心臓より低い位置を保つなどにより患者指先の毛細血管の血流量を多くしておいてください。

② 穿刺部位の消毒（または洗浄）を行います。

③ ランセットなどにより穿刺を行います。

④ 手首から指先方向に揉んで十分量の血だまをつります。

⑤ ヘマトクリット管の採血口を血だまに触れさせて、血液を管内に回収して下さい（ヘマトクリット管を傾けると表面張力により自然に上がってきます）。

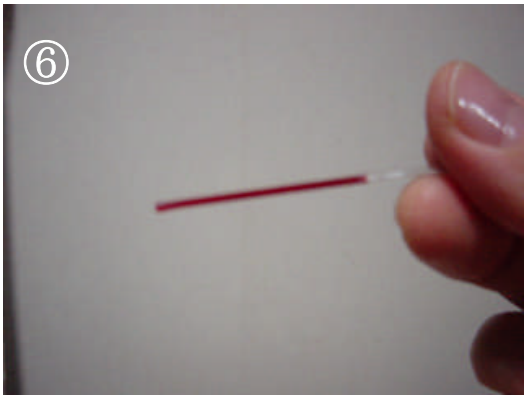
⑥ 20μＬを十分超える量が管内に回収されたことを確認したら、ヘマトクリット管を指から静かに離して下さい（表面張力により、そのままでは管内の検

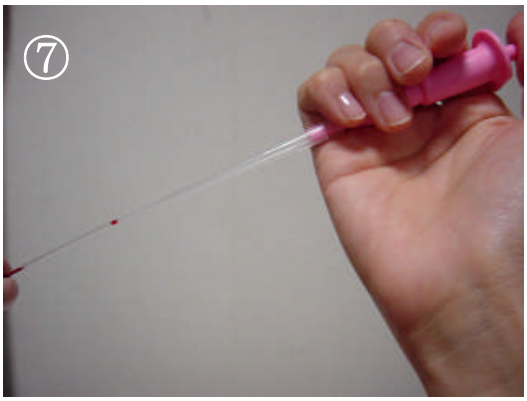
体が流出することはありません)。

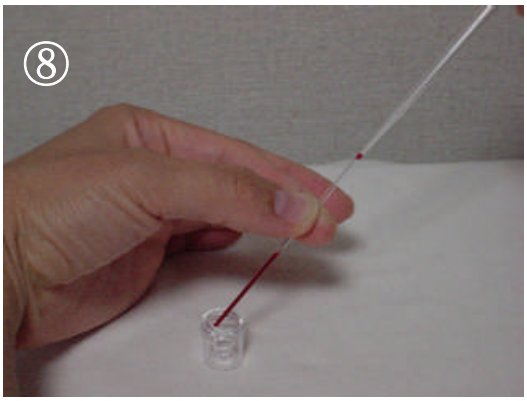
⑦　ミニピペットに装着したミニピペット用チップの先端をヘマトクリット管の反対側口に差し込んで下さい。この時はまだミニピペットの親指ボタンは押し込まないようにして下さい。

⑧　確実に差し込まれたことを確認したらその状態のまま検体処理用サンプルカップ内壁にヘマトクリット管採血口をつけ、ピペットの親指ボタンを押し込んで下さい。(ミニピペットから 20μL分の空気が吐出され、それに押されてヘマトクリット管内の検体 20μL が押出されます)

⑨　ヘマトクリット管からミニピペットを外してください。そのままミニピペットを使用して検体処理液との混合を行い、以降通常の方法に従って操作を行なってください。







注意事項：

- 使用するヘマトクリット管は必ずヘパリン処理済みのものをご使用ください。
- ヘマトクリット管の採血可能容量と 20μL回収時の液面位置がどのあたりかをあらかじめ把握しておき、十分量を回収してください。
- ヘマトクリット管は内径 1mm 以上のものを使用して下さい(ミニピペット用チップ先端が差し込める大きさ)。
- ガラス製のヘマトクリット管を使用の場合は、チップ差込の際に管が破損しないよう注意して下さい。また、ヘマトクリット管は十分に肉厚のものを使用して下さい。(本資料の挿入写真では接合部が分かり易いようヘマトクリット管中央付近で保持しておりますが、実際のチップ差込の際は接合部付近での保持が安全です)
- 穿刺から血液のヘマトクリット管への回収はできるだけ速やかに行なってください。また、少量ずつ何度にも分けて回収しないで下さい。指上で血液凝固が進み、その後の検体処理が正常に行なわれない恐れがあります。
- ヘマトクリット管への検体回収後は放置せずできるだけ速やかに検体処理用サンプルカップへの吐出を行なってください。放置するとヘマトクリット管内の血球密度差が大きくなり正常に反応が進まなくなる恐れがあります。
- 感染性物質取扱に沿って実施してください(本資料の挿入写真は実験的な自己採血の際のものなので手袋をしていません)。